

主 文

本件各上告を棄却する。

理 由

被告人兩名の各上告趣意（後記）は、憲法違反を主張するけれども、その実質は刑訴四―一条に該当する事由のあることを主張するに帰するのであつて、上告適法の理由にならない。また記録を精査しても同四―一条を適用すべきものとは認められない。

よつて同四―四条三八六条一項三号により主文のとおり決定する。

この決定は、裁判官全員一致の意見である。

昭和二六年九月二六日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	栗	山	茂
裁判官	小	谷	勝 重
裁判官	藤	田	八 郎
裁判官	谷	村	唯 一 郎